

Istanbul Weekly vol.1-no.5

イスタンブールウィークリー

発行：在イスタンブール日本国総領事館 発行日：2012年11月16日（金）

— 今週のポイント —

1. 政治：県市町村の自治体再編成法案が可決。
PKKのハンガーストライキ関連。
2. 経済：トルコは観光旅行社数で世界第6位に上昇。観光収入では世界第9位。
ムーディーズはトルコの格付を変更しない模様。
3. 治安：シリア国境で緊張感高まる。
バージュラル市で発砲事件。
4. 社会：バグダッド通りにある建物の検査結果。
KGS（カード式通貨システム）が年内で終了。

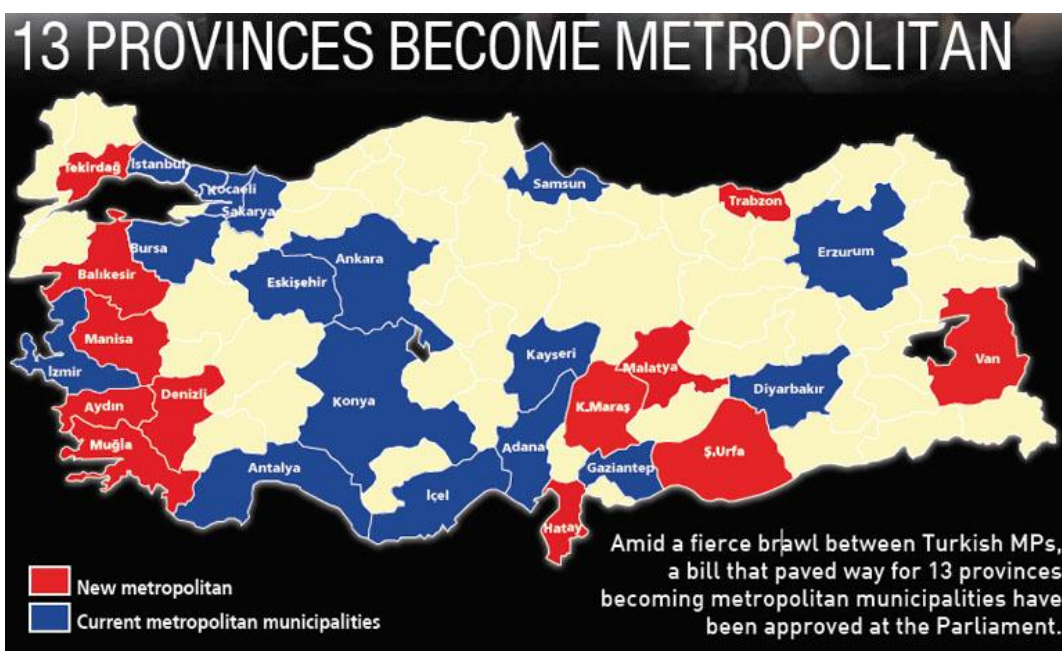
1. 政治

●宗務庁予算

先日発表された2013年度各省庁予算に関し、宗務庁予算が46億100万リラとなり、昨年度予算38億9100万リラに比較して大幅に増加した。宗務庁の後には、順番に内務省28億8800万リラ、保健省24億9000万リラ、産業・科学技術省24億6900万リラ、環境都市省18億8000万リラ、文化観光省18億5100万リラ、外務省16億1400万リラ、経済省13億8100万リラ、開発省11億9800万リラ、エネルギー・天然資源省6億リラ、税関・商業省5億300万リラ、EU省2億1300万リラとなっている（10月23日付T24インターネットニュース）。

●県市町村の自治体再編成法案を可決

野党からの厳しい反対の目に遭いながらも、国会は全国の県市町村等の自治体再編成に関する起草法案を承認。この法案が適用されると、人口75万人以上の13の都市は新たに「大都市」となり、現在の16ある「大都市」に加えて、合計29の大都市となる。この再編成により、2009年の地方選挙でCHPが選出されたエスキシェヒル県やアンタリヤ県などもAKPの行政下に置かれる可能性がでてくるなど、AKPの力がより強大となり、連邦制への道を開くと見られていることから、野党CHPは大統領の拒否権行使を訴えるために、ギュル大統領との面会を要請中。（11月13日HDN紙）



●トルコの対アフリカ政策

アフリカ専門家によると、トルコは、アフリカ諸国との二国間政治関係の発展、人道的支援・公的教育・社会保障・インフラ構築プロジェクトの発掘を重視し、各地にトルコ大使館を開設中。2012年末までにアフリカに34公館を設置予定（最近ではニジェール、ナミビア、ガボン、ブルキナファソ、チャド、ギニア、ジブチに開設）。11月5日にイスタンブールで開催されたフリードリッヒ・エベルト財団主催の「アフリカの角諸国における平和と安全保障」年次会合には、アフリカ諸国から20名以上の政務専門家や外交官が出席。イスマイル・ワイス・ジブチ大統領顧問は、エルドアン首相は、2010年のソマリア危機の際にソマリアを訪れた唯一の指導者だったと発言（11月7日付HDN紙）。

●アタテュルク没74周年追悼式典

10日、アンカラのアタテュルク廟において、アタテュルク没後74周年追悼式典が実施され、ギュル大統領、クルチダルオールCHP党首、バフチェリMHP党首、オズエル参謀総長らが出席。ブルネイ訪問中のエルドアン首相は欠席。エルドアン首相は、ブルネイから帰国後、記者から10日の追悼式典の欠席を問われると、「欠席に問題があるのか。10月29日の共和国建国89周年記念式典に野党CHP党首は欠席したではないか。」と回答。（11月12日付M紙）

●エルドアン首相、ブルネイから帰国

11日にブルネイから帰国したエルドアン首相は、(i)議論中の新大統領制は、米国式システムではなく、「トルコ式システム」になるとし、現在ギュル大統領とエルドアン首相の関係は良好であるとした上で、別の人物が大統領となる場合に相互不理解等が生じないためにも新大統領制の導入が必要であると強調。またベキル・ボズダー副首相は、新大統領制は必ず導入されるとし、ワンマン体制に陥らない対策がとられれば問題ない訳であろうと国民から51%得票した者が大統領になれるとした。エルドアン首相はさらに、(ii)刑務所に収監中のPKKメンバーらがハンガーストライキを継続している問題に関し、PKKの手段は脅しであり、AKPが与党である限りはイムラル島に拘禁中のオジャラン元PKK首領の釈放はないとし、(iii)死刑に関し、今後、政治犯ではなくテロ実行犯等を対象に、死刑存否に関する議論の余地はあるとし、米国、中国、ロシア、日本では死刑制度があると発言。（11月12日付M紙）

●死刑問題関連

(1) 13日、バフチェリMHP党首は、エルドアン首相が死刑制度の復活の余地があるとした発言に関し、国会に死刑廃止を変更する案を早急に提出できるなら、MHPは死刑復活について支持すると発言。クルチダルオールCHP党首は、エルドアン首相が2002年6月7日にアンカラのチャンカヤ大統領公邸で開催された会合で死刑廃止を熱烈に擁護したことは未だ記憶にあるとして、死刑復活の議論は狡猾な宣伝であると発言。（11月14日付H紙）

(2) 英国タイムズ紙は、エルドアン首相の死刑制度復活の発言に関し、発言の意図として(i)人気稼ぎ、(ii)EUに対する子どもじみた挑発行為、(iii)クルド人がシリア情勢を利用するのを諦めさせることにあると論評。（11月14日付H紙）

(3) メフメット・アリ・シャーヒンAKP副党首は、死刑問

題に関するエルドアン首相の発言は、世論の反応を見るために、死刑問題に言及したのであり、これに関して政策がとられるのは正しくないと考える旨発言。（11月15日付H紙）

●アフメット・オザル、父親トウルグト・オザル首相の死について語る（インタビュー）

1993年4月17日に亡くなった故トウルグト・オザル首相の死因解明のために、墓から遺体を取り出し、再検体が行われた。オザル大統領の息子、アフメット・オザル氏は、故首相の毒殺が立証されたと主張している。同氏は、毒殺であったとしても一回による毒殺なのか、徐々に実行されたものかは現在検査中であるとし、その結果は国民と共有されるべきと発言。また、オザル首相は当時、輸入自由化を進めており、タバコ・酒類の密輸組織はそのため40~50億ドルの損失を受けていた。また、故首相はクルド問題解決に努めていたことから、テロ組織資金用にアフガニスタンから米国へ通じる麻薬ルートも抑えており、トルコでテロが頻発することを望んでいたドイツ、フランス等も故首相の死に関与していた疑いが高いと考えているとした（11月12日付HT紙）

●タン駐米トルコ大使、パトリオット配備について言及

タン駐米トルコ大使は、(i)トルコのシリア国境へのパトリオット配備を以前からNATOに要請しており、作業が終わるまで詳細を明らかにすることは不可能、(ii)トルコ・イラン二国間関係に関し、オバマ米政権による経済制裁のトルコ企業に対する影響は大きいとし、制裁によってイランのエネルギー及び金融部門は深刻な影響を受けている。(iii)PKK対策として検討されている武装無人機の調達要請については、PKK対策における米国の支援を強く歓迎し、共通の敵に対する米国政府支援の増加・継続を期待している旨発言。（11月12日付HDN紙）

●ラスムーセンNATO事務総長、トルコ支援を表明

ラスムーセンNATO事務総長は、プラハにおいて、メディアに対し、NATOはトルコ防衛計画を準備中であるが、こうした計画が実行されることがないように希望する、トルコはNATOの団結を信頼できると述べた。

ダヴトオール外相は、12日にシリア国境付近のジェイランブナルでシリア側の空爆があった事件に関し、トルコは国連安保理及びNATOに事件概要を報告し、居住地域を空爆したアサド体制の責任を訴え、シリアがトルコ空域侵犯するならばトルコも応酬するとした。

ギュル大統領はフィナンシャル・タイムズ紙に対し、「アサド政権がトルコに対して化学兵器を使用する可能性がある。トルコはその場合にパトリオットミサイルで応酬可能。シリアの化学兵器は旧ソ連システムのものとして知られているが、シリア側の気違い染みた行為の可能性が以上、それに対する準備は必要である、それはまさに現在NATOが進めていることである」と発言。（11月13日M紙）

●17の軍事病院が閉鎖へ

軍事病院を市民病院と移管換えることに関する報告書が提出された。同報告書によると、17の軍事病院が閉鎖され市民病院とされる他、24の軍事病院は参謀本部から防衛省へ移管される。（11月13日付HT紙）

●ハンガーストライキ関連

(1)14日、レイラ・ザナ議員（無所属）は、エルドアン首相がハンガーストライキに無関心であるとして、国会議員執務室で無期限のハンガーストライキに入った。今年6月にエルドアン首相は、会談したザナ議員に対し、クルド関係の事項を解決すると発言していた。ザナ議員がハンガーストライキに至った経緯として、長年共に刑務所に収監されていた、ハンガーストライキ中のハティブ・ディジュレを訪問し、先週末までに政府の動きがなければ、自分もハンガーストライキに入ると言い残したとされる。マルディン選出のアフメット・トゥルク議員は、健康問題を抱えるザナ議員にハンガーストライキを諦めさせることは出来なかった。

(2)メフメット・アリ・シャーヒンAKP副党首は、PKKによるハンガーストライキはトルコがあたかも混沌の中にあるとの印象を作り出すために行われている、ハンガーストライキ開始前にエルドアン首相は、希望する言語で弁護可能となる方向で考えている旨述べ、実際現在国会でもその方向で作業中であり近日中に結果は出ることからも、PKKがハンガーストライキをする意味はないとした。(11月15日付H紙)

●ギュル大統領、フィナンシャル・タイムズ紙に語る

ギュル大統領は英国フィナンシャル・タイムズ紙記者に対し、(i)過去10年に行われた改革は、EUの蓄積に照らしてふさわしいものとなるが、現地点で立ち止まってはならず、改革はより先に進む必要があるとし、(ii)（エルドアン首相をほのめかして）自分はあくまで中立が求められる大統領であって政治家ではなく、より広い観点から物事を捉えており、思ってもいないことは発言せず、(iii)シリア問題では、ロシアの態度が鍵であるとし、ロシアが姿勢を変えて現状打破できる枠組みが必要であると述べた。

(11月15日付H紙)

●トルコ人女性約5000人が警察保護下に

家族・社会政策省は、最近の判決を発表し、4634名のトルコ人女性が家庭内暴力から身を守るために警察の保護下にあり、2万9624人に対して予防措置がとられているとした。警察保護下にある人々は、アナトリア内陸部のカイセリで989人と最も多く、アダナで974人、コンヤで840人。アンカラは8人、イスタンブールでは14人。予防策（家からの隔離、警告発出等）の施行については、最も多いところでアンカラ4549件、イズミル4431件、イスタンブール3768件。(11月15日付HDN紙)

●トルコ軍の交戦規定は有効

イスメット・ユルマズ防衛大臣は、12日のシリア機による空爆事件でトルコ側が即応戦できなかったという主張に関連して、6月22日のトルコ空軍機撃墜事件後に変更された交戦規則は有効であり、国境部隊はシリア国境から5km以内のトルコ側国境地帯を脅かすシリア軍機・ヘリコプターに対して即臨戦可能であると発言。(11月15日付HDN紙、HT紙)

●主要紙の流通部数

(11月12日TZ紙)

Daily	Price	Copies sold	Last week	Change
ZAMAN	0,50 TL	845.428	856.888	-11.460
POSTA	0,50 TL	427.350	386.369	41.380
HÜRRİYET	0,60 TL	402.715	384.077	18.637
SABAH	0,50 TL	311.314	307.657	3.657
SÖZCÜ	0,40 TL	299.993	276.964	23.031
HABER TÜRK	0,50 TL	208.823	204.141	4.682
PAS FOTONAC	0,50 TL	199.876	199.006	870
FANATİK	0,50 TL	178.671	174.680	4.591
MİLLİYET	0,50 TL	157.220	150.799	6.460
STAR	0,50 TL	134.550	132.125	2.427
TÜRKİYE	0,50 TL	120.537	116.348	4.189
VATAN	0,50 TL	115.083	114.675	3210
BÜGÜN	0,50 TL	111.898	107.348	4.150
TAKVİM	0,40 TL	111.331	106.790	4.541
AKSAM	0,50 TL	104.492	104.172	320
YENİ SAFAK	0,50 TL	100.703	102.444	-741
GÜNEŞ	0,40 TL	90.328	86.903	4.426
AYDINLIK	0,50 TL	63.575	59.633	3.882
AMM	0,25 TL	58.830	57.677	1.153
DÜNYA	2,25 TL	57.033	52.265	4.768
SÖK	0,50 TL	55.916	56.776	-860
YENİ AKİT	0,60 TL	55.111	55.071	40
CUMHURİYET	1,00 TL	53.156	49.899	3.257
YARAK	0,50 TL	52.133	53.020	-887
YENİKAG	0,50 TL	51.936	50.908	1.028
YENİ ASYA	0,75 TL	51.428	51.304	123
MİLLİ GAZETE	0,70 TL	33.032	33.036	-66
RADIKAL	0,75 TL	25.190	25.208	-18
YENİ MESAJ	0,25 TL	23.682	24.545	-863
SOL GAZETESİ	0,50 TL	19.184	18.133	1.051
MİLAT	0,50 TL	10.751	10.705	44
TODAY'S ZAMAN	1,50 TL	9.025	5.500	3.525
G. EVRENSEL	0,45 TL	6.971	5.615	1.357
ORTADOĞU	0,50 TL	6.756	5.493	1.263
BİRGÜN	1,00 TL	6.662	6.090	602
H. DAILY NEWS	2,00 TL	5.293	5.122	170
HİRSİS	0,25 TL	2.216	2.126	90
Total			4.439.003	-4.439.003

Source: Yayıncı, Turkuvaz

2. 経済

●イスタンブールで新たに4本の路線敷設計画

イスタンブールで今後4本の地下鉄路線の敷設計画されている。総工費は50億ドル。2016年完成予定で、路線の総延長は現在の102.7kmから300kmに伸びる。路線は①Bakirkyo-Beylikduzu、②Bakirkoy-Bagcilar、③Kabatas-Mahmutbey、④Kartal-Kaynarca。マルマライ（ボスフォラス横断地下鉄）との連結も検討されている。(11月9日付H紙16面)

●トルコが大型軍事輸送機A400Mの胴体を製造

トルコ宇宙産業機構(TAI)は大型軍事輸送機A400Mの製造を行っており、7日に2個の胴体部分を独・ブレーメンに輸送した。輸送では世界最大級の輸送機ペルーガが使用された。この胴体部分はブレーメンで加工された上で、更にスペイン・セビリアで組み立てられる。(11月9日付TD紙)

●対外債務支払額が発表される

中央銀行発表によると、1月1日から11月7日までの対外債務支払総額(民間セクター除く)は、113億ドル。IMFに対する支払総額は16億ドル。(11月9日付M紙インターネット版)

●産業生産指数が上昇

9月の産業生産指数が大幅に上昇。対前月比で3.9%、対前年同月比では6.2%の増加。衣服、木材製品、輸送手段生産の増加が貢献している(11月9日付M紙インターネット版)

ト版)

●購買力平価に基づく一人当たり国民所得が約1万9千ドルに

購買力平価に基づいた一人当たりの国民所得は明年1万8340ドルと予想されることが判明した。同国民所得は2004年に1万ドルを超えていた。(11月12日付M紙インターネット版)

●トルコは観光旅行者数で世界第6位に上昇。観光収入では世界第9位

エコノミスト誌によると、昨年の観光旅行者数はトルコが約3100万人となり、イギリスの約3000万人を抜いて第6位。なお、1位から5位は順に、仏、米、中、西、英。また、ギユナイ観光大臣も、トルコの観光業について、観光客数で世界第6位、観光収入で世界第9位(230億ドル)であると述べた。(11月12日付M紙インターネット版、11月15日付TZ紙6面)

●アンタリヤ地方の電力会社が民営化される

トルコ南部のアンタリヤ県、ウスパルタ県、ブルドゥル県に電力を供給する地中海電力供給株式会社(国営)の民営化に関する入札が行われ、ジェンギズ・コリン・リマク企業連合が5億4600万ドルで落札した。地中海電力供給株式会社は167万世帯が利用している。(11月13日付H紙10面)

●毎日19人が百万長者の仲間入り

銀行監督庁(BDDK)によると、100万リラ以上の預金額を内容とする銀行口座の数は1月~9月で5073口座増加。1日当たりでは19口座が増加。(11月13日付HT紙10面)

●アラブ人が植毛のためにトルコに訪訪

UAEを中心としたアラブ人が植毛のためにトルコを訪れている。トルコを選ぶ理由は高品質な割に値段がリーズナブルな点。一人平均で4~7日滞在し2000~4000ユーロを落としている。植毛のために毎日50人のアラブ人がトルコを訪問。(11月13日付M紙8面)

●トルコの公用車・官舎の数は世界最大級

トルコの公用車数は9万台であり、日本の1万台、独の1.1万台、英の1.2万台を遙かにしのいで世界最大級。また、官舎の数も23万5000戸もある。官舎のうち、4万6000戸は治安関係者、4万1600戸は教育関係者のもの。(11月13日付TD紙10面)

●5400台のiPhoneを密輸

イスタンブール税関当局は5400台の密輸iPhoneを押収。この密輸業者は最初サムスン製の携帯電話を密輸し、150~200リラで販売、次にiPhoneの密輸をしようとしたところを押さえられた。トルコのスマートフォン市場は約800万リラの規模。(11月13日付TD紙10面)

●ムスタファ・コチ氏、「成長率5%未満はよくない」

ムスタファ・コチ・コチホールディング社長は、トルコ経済はエネルギー等の輸入依存経済であるため、10%を超える経済成長は経常赤字を招くためよくないが、同時に、雇用確保の観点から、5%を切る低成長も問題であると述べた。なお、本年は4.5~5.0%の成長が見込まれている。(11月14日付HT紙8面)

●トルコの平均貯蓄額は月22ユーロ

Ersteグループが12カ国で同時に行った調査によると、トルコ国民の平均月貯蓄額は平均22ユーロと12カ国中最低。独は178ユーロ、オーストリアが164ユーロ、ポーランドが90ユーロ。トルコ国民の33%が貯蓄は重要であると回答する一方、83%が経済的困難のため貯蓄不可と回答

●トルコは2023年で経済規模が世界第14位、2060年で世界第12位

トルコは建国100周年である2023年に世界第10位の経済大国入りを目指しているが、OECDの推測によると、2023年まで平均年5.07%の成長を前提にすると第14位となり、2060年には第12位になるという予想を発表。2023年に第10位に入るためには今後年平均7.31%の成長が必要。(11月12日付HT紙12面)

3. 治安

●県警がシルケジ所在のドゥバンクハルにおいて関税法違反容疑で取締を実施

8日、イスタンブール県警は、ドゥバンクハルにおいて税関職員と共同で関税法違反の取締を実施。(11月9日付C紙3面)【注】カメラ等のデジタル家電売場として知られている場所(エミノニュ地区)。

●治安当局による対PKK作戦等

8日、ハッキヤリ県での戦闘で、42名のPKKメンバーを殺害、1名の兵士が死亡。(11月9日AFP、AA)

【注】ハッキヤリ県はトルコ南西部にありはPKKとの戦闘が頻発する地区。

9日、マルディン県で3名の教師がPKKメンバーにより誘拐されたが11日に同3名は解放された(11月9日、11日AA)

●シリア国境で緊張高まる。(シリア国境のシャンルウルファ県で3名のトルコ人が負傷)

8日、シリア国境での紛争により、シャンルウルファ県側にいた3名のトルコ人が負傷。(11月9日付DN1面、C紙9面)

●シリア行きのアルメニア航空機のトルコ国内での着陸について(続報)

8日、シリア行きのアルメニア機がトルコのエルズルム空港に着陸した件で、アルメニア外務省報道官は、「このトルコでの着陸は規則に則ったもので、同機はアレポ居住のアルメニア系シリア人に対し15トンの食料品援助物資を輸送していた」と報道機関に語った。トルコ政府側も「規則に則った荷物検査をしたに過ぎない」と発表。(11月9日付DN紙4面)

●タイ人歌手がアタテュルク空港でのコカイン所持容疑で逮捕状発布される

8日、イスタンブールの裁判所は、南アフリカからイスタンブール経由でタイへ帰国途中のタイ人女性歌手に対し、2kg超のコカインを所持していた容疑で逮捕状を発出。同人は、コカインの入っていた荷物について、「南アフリカにいる恋人から航空券を渡され、タイにいる自分の子供へのプレゼントとして荷物を受け取った」と供述。同人は5日にアタテュルク空港で身柄を拘束されていた。(11月9日付TZインターネット版)

●軍のヘリが墜落 17名死亡

10日、軍のヘリがトルコ南東部スイルト県において墜落、4名の乗員、13名の軍警察特別作戦チームの兵士合計17名が死亡。内務大臣は、原因についてパイロットの過失と天候によるものと発表。(11月12日付C紙10面)

●バージュラル市で発砲事件

11日、バージュラル市(アタテュルク空港北側)において、パトロール中の警察官が、不審車両に停車を求めたものの停車せず逃走し、警察車両に向けて発砲。事後逃走車両のみが発見、運転手は逃走。(11月12日付C紙10面)

●シリアから一晩で8,000名の避難民

トルコ外務省は、8日～9日にかけてシリアから一晩で8,000名の避難民がトルコ国境から入ったと発表。(11月9日付AFP)

●ムーラ県でM4.0の地震

9日午前6時46分、ムーラ県(トルコ南西部)の海岸線においてマグニチュード4の地震が発生。被害情報は報告されていない。(11月9日付TZインターネット版)

●シリア国境においてトルコ治安機関が武器を押収

シリアからトルコ国内に入国したシリア・ナンバーの車両内に、手榴弾4個、ピストル2丁及び弾倉110個をトルコ治安機関が発見。シリア国籍の運転手の身柄を拘束。(11月12日付AA)

●ベシクタシ市で10kgのヘロインを押収

11日、イスタンブール県警は、走行中のタクシーのトランク内にあった10kgのヘロインを押収。(11月12日付AA)

●バクルキョイ市アタキョイ区で3台の車両が焼燬

13日、バクルキョイ市アタキョイ区で駐車中の3台の車両が焼燬、そのうちの1台の所有者は元閣僚経験者。(11月14日付AA)

●県警による違法薬物の取締

13日、イスタンブール県警は、イスタンブール及びトルコ南東部エラズーで関係場所の家宅捜索を行い、コカイン、マリファナ等の違法薬物等を押収するとともに、21名の身柄を拘束。(11月14日付AA)

●シリアからの難民が10万7,769名

14日、ダウトオール外相は、シリアからの難民が10月30日の時点で、10万7,769名に達しており、3億8,180万トルコリラの経費を支出していると発表。(11月15日付AA)

●トルコ西部での不法出入国者の逮捕

14日、トルコ北西部エディルネにおいて、不法出入国者56名が逮捕された。不法出入国者の国籍は、ミャンマー、エリトリア、アフガニスタン、パレスチナ、グルジア、パキスタン。同日、トルコ西部チャナッカレにおいて、ギリシヤの島へ不法に出国しようとした22名と不法出国助成者8名が逮捕された。不法出入国者の国籍は、アフガニスタン4名、ミャンマー18名であった。(11月14日付AA)

4. 社会

●トルコ国内航空路使用乗客数、1億1300万人を超過

州空港当局(DHMI)の発表によると、トルコ国内の航空路を使用する2012年1～10月の期間の乗客数は1億1300万人を超過。2012年10月では、国内線は3.9%増加し、国際線は5.8%増加。また2012年10月の全航空路量は4.8%増加し、空港を使用する乗客数は11%増加(前年同月比)。(11月07日付AA社Website)

●国家の宮殿管理は文化観光省移管に

現在国会で行われているペイルルベイ宮殿やドルマバフチェ宮殿など歴史的建造物の管理は、文化観光省に移管される(現時点で見学等の可能性について言及なし)。(11月09日付H紙9面)

●バグダッド通りにある建物の検査結果

環境・都市計画省の都市再生プロジェクトに関連し、調査実施したテキタシュ・エンジニアリング社の調査報告書によると、「バグダッド通りにある建物の80%は取り壊す必要がある。また、残りの建物のうち30棟については、リニューアルする必要がある。」(11月09日付H紙14面)

●第34回ユーラシア・マラソン大会開催

11日、第34回ユーラシアマラソン大会が開催され、市民

数万人が参加。大イスタンブール市によって組織されたマラソン大会は、アジア側を起点に、ブルーモスク、アヤソフィアを含む多くの史跡を通過するコース。(11月12日付S紙1面及び6面、Z紙25面)

●「歩行者専用道路化プロジェクト」の影響

イスタンブール、タクシム広場近辺でおこなわれている「歩行者専用道路化プロジェクト」は周辺の小売業界に影響を与えた。巨大ボードで仕切られた区間(ディヴァンホテルからタクシム広場)までの小売店、飲食店などは閉店を余儀なくされ、閉店や人員解雇につながっている店舗もある。その被害は予想額数百万トルコリラに達する。(11月13日付H紙15面)

●イスタンブールのレジデンス(高級アパート)の建設・販売が好調

アジア側のアタシェヒルに建設中のイスタンブール・ファイナンスセンターの中央に建設中の54階建てサルファン・ファイナンス・パーク・レジデンスの1+1(1部屋+1サロン)の部屋は完売、2+1の部屋も5部屋を残すのみとなっている。また、ヨーロッパ側エセンテペで2014年完成予定のQスタジオレジデンスの販売価格は1+1の部屋で21万6千ドル、3+1の部屋で73万4千ドル。(11月13日付M紙14面)

●大規模テーマパークの建設

大イスタンブール市は、中東で最大のテーマパークとなる「VIALAND」をエユップ区に建設中(60万㎡)であり、2013年4月23日(トルコのこどもの日)にオープン予定。このテーマパークには超高速ジェットコースターなどの乗物や、ノスタルジックなイスタンブールの通りを再現するなど、沢山のアトラクションができる予定。このテーマパーク完成により、イスタンブールへの観光客は15%増加の見込み。(11月16日S紙28面)

●11月10日のアタテュルク廟訪問者が過去最大を記録

参謀本部長の報告では、11月10日にアタテュルク廟を訪問したのは過去最大41万3,568人であった。(2011年18万1,064人、2010年は19万8,544人が訪問)(11月14日付H紙20面)

●トルコ人教師に日本で地震教育

トルコ教育省の外国学校教育プロジェクトの一環で、2010年に締結したJICAのプログラム(下記URL参照)により、来年1月に地震頻発地域トルコ人教師10都市から260人の教師を日本に12日間派遣する事が決定された。(11月14日付S紙14面)

【<http://gwwweb.jica.go.jp/km/ProjectView.nsf/VIEWALL/C2D8EACD3017417E492576F600211407?OpenDocument>】

●ギターのルーツはスペインではなくトルコの北部

トルコ北部チョルム県で行われている紀元前18世紀頃の遺跡調査で、出土品の中にギターに似た弦楽器を表した絵が描かれた石が発見された。3500年前にはギターがこの地で使われていた事を証明するものとして注目されている。(11月14日TZ紙3面)

●KGSは本年末で終了

料金所での交通渋滞を防止するために、カード式通過システム(KGS)を終了させ、2013年1月1日以降高速通過システム(HGS)が開始される。KGSカード保有者480万人は来年1月1日までにHGSタグを入手する必要がある。(11月15日P紙9面)

注：本文中のニュースソースの略称は以下の通りです。

トルコ語新聞		英字新聞		通信社	
Cumhuriyet	C	Herald Tribune	HE	Anadolu News Agency	AA
Hürriyet	H	The Daily News	DN	Agence France Presse	AFP
Vatan	V	Economist	EC	Cihan News Agency	CA
Akşam	A	Today's Zaman	TZ	Doğan News Agency	DA
Milliyet	M	Hürriyet Daily News	HD	Ihlas News Agency	IA
Sabah	S				
Radikal	R				
Zaman	Z				
Posta	P				
Haberturk	HT				

在イスタンブール日本国総領事館

電話：212-317-4600

FAX：212-317-4604

E-Mail：istanbulweekly@it.mofa.go.jp

WEB：http://www.istanbul.tr.emb-japan.go.jp/index_j.html

facebook：http://www.facebook.com/Japonya.Istanbul.Baskonsoloslugu

- トルコに90日以上滞在される方は総領事館に在留届を提出願います。
- 新規で配信をご希望の方、配信を希望されない方は、お手数ですが以下のメールアドレスにご連絡ください。
istanbulweekly@it.mofa.go.jp